

陝西省訪問プログラム を終えて

20819 田中 稜平

～テーマ～

日中の青少年交流を促進するにはどうしたらいいか。



- 私達が体験した素晴らしい経験をたくさんの人に経験してもらいたいと同時にこれからの時代をつくっていく青少年がこのような国際交流に関心を持つべきだと思ったから。

訪問前

- 交流できる機会をより多く設ける



機会が多ければ必然的に関わる人間も増えてくると考えたから

- 第二外国語を学ぶ機会を増やす



国際交流において大きい心配は言語だと思い逆に言語さえ少しでも触れていれば抵抗なく国際交流に取り組めると考えたから

訪問後

- 日本語を話せる人が多い



日本人の中国語を話せる人の割合より中国人の日本語を話せる人の割合のほうが圧倒的に多いと感じた

- 中国からの日本のイメージはよい？



日本人からの中国へのイメージはあまりよくない人もいるかもしれないが現地へ行くと数日の間でたくさんの将来は日本に住みたいという人たちと出会えた

まとめ

- 日本はより積極的に日中交流に取り組むべきだと思う
具体的には第二外国語を学べる施設、学校を増やす。
中国だけに限らず他国の現状についてより詳しく学校などで教えるべきだと思う。
実際、訪問前と訪問後ではイメージが大きく変わった。
なにより、より多くの人に関われるよう機会を多く設けるべきだと思う。
今後、日中交流が盛んになりその存在が当たり前となるぐらいにまで発展してくれることを心より願っている。

